

リンソウ，カワラマツバ，カタバミ，ヤエムグラ，コマツナギ，クララ，スミレ，
タチツボスミレ，ヨツバヒヨドリ，イソノギク，ノラニンジン，オオオナモミ

(寒蟬義一記)

日野山植物採集記

昭和30年5月15日、南条郡、丹生郡及び武生市の境にある日野山の植物採集を行つた。

参会者約25～26名、午前8時30分王子駅に下車した一行はこの駅のある部落今宿から採集にかかる。明道中学校、東郷中学校の生徒を始め初心者が多いので、民衆にあるキショウズヤノムラカエリの説明から始める。田の間を走る路傍には、

イヌガラシ，ハコベ，ウシハコベ，カキドオシ，トウバナ，スカシタゴボウ，キツネノボタン，ズズメノカタビラ，ズズメノテツポウ，タカラシ，トキワハセ，サギコケ，ヤフタビラコ，ミソイチゴツナギ，カニツリクサ，キュウリクサ，カモジクサ，ユメガマ，

春の春の花が見られた。開花していないものには、

ギジギシ，ナワシロタミ，アキカラマツ，ヨメナ，ノコンギク，アゼスケ，サクラタデ，エビヅル，キツネガマ，カワラマツバ，コモチマンネンタサ，ノジシャ，カモガマ，ナギナタガマ 等があった。

やがて山麓の下平吹部落に入る。ここまで来ると今までの陽地性植物とは異り

シケシタ，コウモリカズラ，ウマノアシガタ，ドジョウツナギ，ノカンソウ，カズノコクサ，オドリコソウ，ベニシタ，イワヒメワラビ，

等が現れ、山道に入るにつれ、

アフラチマン，カマツカ，ミツバウツギ，サイフリボク，クロモジ，タムシバ，イヌシデ，タニウツギ，ミスナラ，ウリカエリ，ニカキ，ムラサキンキス，モミジイチゴ，コウソウ，タラノキ，マユミ，コクサギ，ジャケツイバラ，ヒサカキ，ケンボナシ，ツノハシバミ，サイコクミツバツツジ，ナンキンナナカマド，ハリギリ，

等の木本が現れ、その下草として、

アマドコロ，シシカシラ，ママタツナミソウ，ゼンマイ，クズ，ニシノホンモンジスゲ，ミヤマカラマツ，ヤマアイ，ノギラン，フユツタ，フタリシスカ，ツボスミレ，ウラジロ，モウセンゴケ，チゴユリ，サンカクツル，

等が見られる。

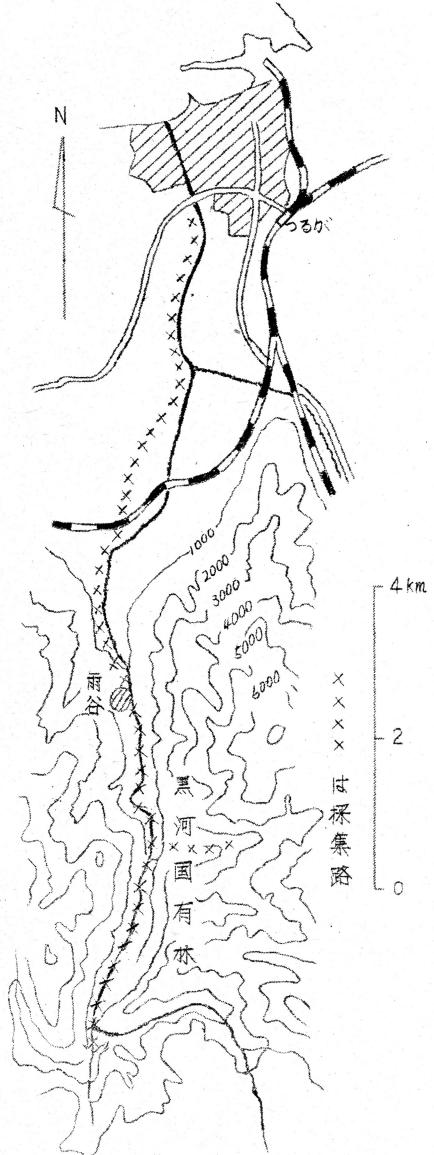
山は登るにつれ、

(稿)

ホクリクネコノメソウ, ウワバミソウ, ヒトツバカエ元, コバノガマズミ, ミヤマシキミ, ナガマド, ウラジロノキ, イワナシ, コシアブラ, ウスギヨウラク, 等も出現し, スナは約200mの辺から見られた。

この山の標高は295mであるが、この山頂にはスギの巨木が多く、その他にスナ, ハウチワカエテ, ウスギヨウラク, アクシバ, レンケツツジ, ツクバネウシギ, ホツツジ, ハリギリ, コシアブラ, ナンキンナナカマド, スノキ, ネジキ, ムシカリ, ウスギヨウラク, タテヤマスケ, ウツボクサ, 等がある

(黒蝶集一記)



黒河国有林植物採集記

越前と若狭の接する所にある黒河国有林は、暖帶性植物と温帶性植物とが交錯し植物分布上興味があると思われるので、昭和30年7月17日に郷土博物館長畠芳寿氏と共に採集行を試みた。

午前8時56分敦賀駅着と共に徒歩で奥地に向う。敦賀市内に帰化植物イヌムギの見られることは数年前よりわかつていて、市街をはなれた国道の両側がこの雑草で占められていることは、今更ながら帰化植物の進出ぶりの偉大さに驚かれた。

先を急ぐ必要から原野の採集はおいて黒河川に沿って登るあたりから採集にかかった。

このあたりはウラジロカシ, タブノキ, ヤブニッケイ, シロタモ等の常緑広葉樹が優先し、コナラ, アカシテ等がこの間に交り、その下にコブシ, ウツギ, ハゼノキ, ホムノキ, アカメガシワ, エゴノキ, アワスキ, シラキ, ツノハシバミ, ケンボナシ, ヌルテ, リョウブ, ヒメヤシヤマスシ, キヌシ, ハネミイヌエンジユ, カマズミ, ズミ, アセビ, ツクバネウツギ, ノリウツギ, 等がある。

特にシラキの多いことは注目すべきではなかろうか。下草としてスマトラノオ, ヤマハツカ, アカ